

環境や防災の問題について、一人ひとりが関心をもち、考え、実行することで、社会全体として大きな力を生み出すことができます。環境や防災についての知識を得るとともに、豊かで安心な暮らしを実現しようとする態度を身につけていくことが大切です。

環境教育

豊かな自然環境を守り、環境への負担が少ない持続可能な社会を構築するためには、21世紀を担う子どもたちへの環境教育が重要です。環境保全や資源の大切さをテーマにした題材を取り上げています。

ごみをへらす計画

ゴミをへらすためにはどうすればよいかを話しあい、自分にできる環境を守る取り組みについて考える場面を用意しました。



日本で平成22年度に出されたごみの量は、約4536万tでした。

このことから考えると、1人が1日に出すごみの量は、976gになります。

自然かんきょうを守るために、ごみをへらすことがたいせつです。

① 話しあってみよう

ごみをどれだけへらせるかな。
1人が1日におよそ1kgも出しているから、少しはへらせそうね。

ごみをへらすにはどんなことをすればよいのかな。
わたしの家では、買い物のときにレジふくろをもらわないようにしているよ。

4年下 p.104-105

② 調べてみよう

ごみをへらすくふう

使わなくてよいもの	つめかえきるもの
・レジふくろ まい 10g	・シャンプーのようき 60g
・紙コップ こ 5g	・せんたく用せんざいのようき 60g

リサイクルするもの

・1Lの牛にゅうパック 30g	・350mLのアルミかん 20g
・食品トレイ まい 5g	・新聞紙 1日分 200g

③ 計画をたてよう

1日のごみをへらす計画

家族4人でやせるごみの量を調べました。

・買い物ふくろを持っていく。	レジふくろ2まい分で、 $10 \times 2 = 20$ 20g
・リサイクルのかいしゅう箱を持っていく。	1Lの牛にゅうパック 30g
・食品トレイ4まいで、 $5 \times 4 = 20$ 20g	新聞紙1日分 200g
・新聞紙を古かいしゅうに出す。	
新聞紙1日分	

20+30+20+200=270だから、1人に270gへらすことができる。

4人家族だから、 $270 \div 4 = 67.5$ で、1人が1日に67.5gへらすことになります。

たてた計画をためしてみましょう。

緑化計画

地域社会で取り組まれている環境保全活動を取り上げました。環境問題が社会全体の問題であることに気づき、このような社会活動への参画意識を育みます。

3 あおいさんたちは、7本の木を1列にならべて植えました。

木は2mずつはなれています。

両はしの木の間は何mですか。

見えて考えましょう。

2m



3年下 p.95

あおいさんたちは、7本の木を1列にならべて植えました。

木は2mずつはなれています。

両はしの木の間は何mですか。

見えて考えましょう。

2m

都市の緑化計画

都市部の荒地は、ほそぎれた道路やビルにたまる熱などのいきょうで、周辺部の温度よりも高くなります。

大阪市では、1000m以上の土地に建物を建てるときには緑化を義務づけています。

緑化の基準

- 地上部分について、次の(1)、(2)の計算式による計算の結果、または建物の面積の合計のうち、いのちかいの緑地の緑化をします。

(1) しき地面積 = (建物面積) × 25%

(2) しき地面積 = (建物面積) × (まへい率) × 0.8 の25%

- 建物の面積の緑化も面積に入れてよい。
- このほかにも、建物の屋上の20%の面積の緑化をする。

しき地面積が1000m²、建物面積が600m²、ゆかの面積の合計が1200m²、まへい率が60%のとき、地上部分について、

※ $1000 \times 60\% \times 25\% = 100$ m²

※ $1000 \times (1200 \times 0.6 \times 0.8) \times 25\% = 130$ m²

※(1)の100m²の面積の緑化をしなければなりません。

大阪マリオッ君は、まへい率が60%で、大阪の面積を20%緑化する計画を立てています。

上の写真は想像図です。



